

スクールライフ!

鶴岡市にある10校の高等学校と高等専門学校。
その学校ならではの取り組みや活動を生徒・学生が紹介します。

No. 8 目指せ! グローカルエンジニア/鶴岡高専

〔学校概要〕 ○創立…昭和38年 ○5年間の一貫した技術教育で準学士(工学)の学位を取得でき、その後2年間の専攻科を経て学士(同)の取得も可能 ○平成27年度に、全員が「創造工学科」に入學し、2年生で専門コースに分かれる新制度がスタート ○地域

貢献活動の一環として「飛島テクノパラメディック(技術の救急隊)」を毎年実施。酒田市飛島の住民の生活用品を修理している



☆実験・実習プログラム ~次世代の技術者を目指して~



紹介者
池田 尚平さん
(物質工学科2年生)

物質工学科では、物質の成分や元素の種類の分析、DNAを使うバイオの実験などをします。実験には結果を予測して臨みますが、予測と違った結果になった場合はレポートを作成して、原因をしっかりと分析することが大事です。また、実験では危険な薬品を扱うことが多いので、先生の指示をきちんと聞くように心掛けています。

私の夢は、Spiber(株)が開発した「QMONOS」のような、世界に通用する新素材を開発することです。いろいろな実験をすることでレベルアップして、夢を叶えるために頑張っています。



物質工学科の実験

私には、月面の環境に対応するロボットを創りたいという夢があり高専に入りました。

機械工学科では、旋盤やフライス盤など、たくさんの機械を使った実習をします。学年が上がるにつれて使える機械が増えていくので楽しいです。でも、操作を誤るとけがにつながることもあるので、注意して実習に臨んでいます。

高専の卒業生の就職率が高いのは、企業のニーズに応えられる技術者が多いからだと思います。私も先輩たちのような技術者になれるように、更に技術を磨いて、夢に向かって進んでいきたいです。



紹介者
足達 瑛さん
(機械工学科2年生)



機械工学科の実習

☆国際交流 ~世界で活躍できるエンジニアを目指して~



紹介者(左から)
本間 海斗さん
(物質工学科2年生)
伊藤 千紗さん
(物質工学科2年生)

今年3月、私たちはシンガポールに16日間の語学研修に行って、協定校での英語の授業や学生との交流、現地の日本企業の見学などをしました。授業では、自分たちで決めたテーマについて発表するのですが、伝えたいことを英語で発表するのは大変でした。でも、現地の学生とのコミュニケーションはとても楽しかったです。

この研修に参加したことで、もっと英語の力を身に付けたいと思いました。そして、将来、世界で活躍できるエンジニアになるために、これからも海外のことを勉強していきたいです。



シンガポールでの語学研修

- ◆補助対象 調査において危険と判断されたブロック塀等で、道路からの高さが1m(擁壁上に設置してある場合は60cm)を超えるもの
- ◆補助金額 次のうちいずれか低い額(上限8万円) ▽解体に要する工事費の2分の1の額 ▽ブロック塀等の解体面積に4、000円を乗じた額
- ◆申込み 12月28日①まで本所建築課へ(予算の範囲内で実施するため、期限前に終了する場合あり)
- ◆ブロック塀等の私有財産は所有者の責任で管理するのが基本です。日頃から危険箇所がないか点検するなど、地域の安全を守るためにご協力をお願いします。
- 地震に強いまちづくりを推進するため、本市では「木造住宅耐震診断事業」も実施しています。
- ◆補助対象 昭和56年5月31日以前に着工されたことを証明できる、在来軸組工法による木造2階建て以下の戸建住宅(その他要件あり) 先着15戸
- ◆個人負担額 1万3、000円(診断費用13万円のうち9割を市が補助)
- ◆申込み 12月28日①まで本所建築課へ